

マックィーンのマッドガード

S.McQueen's Mudguard



りようを物語る一足でもあるのだ。 歴史が呼び覚まされる。スティー 刊したFree&Easy のファンだった 的なリプロダクションをスタート。 の製品を手に入れた。そこから本格 うになったのは、そんな雑誌の循環 ヴ・マックィーンが再注目されるよ かったものが生まれ、そして過去の 雑誌が愛され、人が育ち、あり得な 小誌編集長の小野里が約20年前に創 をかけて作り上げた。福士さんは、 ザインの見直しを行い、5年の月日 う。市場にある靴を探しつくし、あ トレンドセッターとしての雑誌のあ 機能が作用したためである。これは 木型製作に始まり、甲革の選択、デ プにパイピングを入れている70年代 マッドガードに出会い、サイドテー るブログを通じてテクニック社の メーカー Gozovation の代表。この 足を作るのが長年の夢だったとい 送り主の福士公輔さんは、シュ

「はじめまして。八王子にて靴の製造と販売をしております、福士公輔と申します。小野里様の記事に出会ったのが20代の頃ですので、もう四半世紀になります。この度私の念願でしたマックィーンが『ブリット』で履いていたマッドガードを作る事ができました。宜しければ小野里様にも是非履いていただけたらと思い、ご連絡を差し上げた次第です。」。小誌に届いた手紙の文面。手紙が同封

のマッドガード」を忠実に再現した

足が収まっていた。

された箱には、その「マックィーン